

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 中国財務局長

【提出日】 平成25年8月12日

【四半期会計期間】 第63期第1四半期(自平成25年4月1日至平成25年6月30日)

【会社名】 福留八ム株式会社

【英訳名】 FUKUTOME MEAT PACKERS, LTD.

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長 中島修治

【本店の所在の場所】 広島市西区草津港二丁目6番75号

【電話番号】 082(278)6161(代表)

【事務連絡者氏名】 総務経理支援部長 中山哲志

【最寄りの連絡場所】 広島市西区草津港二丁目6番75号

【電話番号】 082(278)6161(代表)

【事務連絡者氏名】 総務経理支援部長 中山哲志

【縦覧に供する場所】 株式会社東京証券取引所
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

第一部 【企業情報】

第1 【企業の概況】

1 【主要な経営指標等の推移】

回次 会計期間	第62期 第1四半期 連結累計期間		第63期 第1四半期 連結累計期間		第62期	
	自 至	平成24年4月1日 平成24年6月30日	自 至	平成25年4月1日 平成25年6月30日	自 至	平成24年4月1日 平成25年3月31日
売上高 (千円)		6,876,284		6,957,266		27,843,125
経常利益 (千円)		23,772		46,040		349,372
四半期(当期)純利益又は四半期 純損失() (千円)		32,278		17,168		172,380
四半期包括利益又は包括利益 (千円)		104,183		33,313		407,442
純資産額 (千円)		4,623,383		5,117,524		5,134,583
総資産額 (千円)		18,315,132		17,701,479		17,601,223
1株当たり四半期(当期)純利益 金額又は四半期純損失金額() (円)		1.93		1.03		10.32
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益金額 (円)						
自己資本比率 (%)		25.2		28.9		29.2

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
 2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。
 3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2 【事業の内容】

当第1四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)において営まれている事業の内容に重要な変更はありません。

また、主要な関係会社についても異動はありません。

第2 【事業の状況】

1 【事業等のリスク】

当第1四半期連結累計期間において、前連結会計年度における有価証券報告書「第2 事業の状況4 . 事業等のリスク」に記載の事項から重要な変更はありません。

2 【経営上の重要な契約等】

当第1四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

3 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループが判断したものであります。

(1) 経営成績の分析

当第1四半期連結累計期間（平成25年4月1日～6月30日）におけるわが国経済は、新政権下でのデフレ脱却と経済再生に向けた金融緩和の実施や成長戦略の期待感から、円安の進行とともに株価が高騰したことで、輸出企業を中心に改善がみられるなど、一部に景気の持ち直しの兆しはあるものの、海外経済の減速懸念や円安による輸入商品価格の上昇など、依然として先行き不透明な状況であります。

当業界におきましては、主原料、包装資材及び燃料の高騰による製造コスト等の上昇及び消費者の節約志向や市場競争激化による加工食品価格の下落が続くなど、依然として厳しい環境で推移いたしました。

このような状況のなか、当社グループは、「お客様第一にあふれる味覚をお届けします」をモットーに「安心・安全・美味しさ」を追求し、経営理念のさらなる浸透を図るとともに、コンプライアンスを重視した社員教育を実施いたしました。また、製造コスト等の上昇が当社の経営を強く圧迫する要因となっている状況のなか、作業効率の改善や仕入の見直しを重視し、コスト削減に努めてまいりました。

販売に関しましては、当社の登録商標である「ロマンティック街道」シリーズ、当社のオンリーワン商品である「花ソーセージ」、昨年発売の「ポークボロニアステーキ」や「くまモン」をパッケージに使用した商品などを中心に販売強化を図ってまいりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は、69億57百万円（前年同四半期比1.2%増）となりました。利益につきましては、営業利益は24百万円（前年同四半期比242.0%増）、経常利益は46百万円（前年同四半期比93.7%増）、四半期純利益は17百万円（前年同期は32百万円の四半期純損失）となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

加工食品事業

加工食品事業につきましては、主原料、包装資材及び燃料の高騰による製造コストの上昇及び消費者の節約志向や市場競争激化に伴う販売価格の下落等もありましたが、昨年発売の「ポークボロニアステーキ」や「くまモン」をパッケージに使用したウインナーは好調に推移し、全体の落ち込みをカバーいたしました。

その結果、売上高は32億61百万円（前年同四半期比1.7%増）、セグメント利益（営業利益）は1億16百万円（前年同四半期比15.2%増）となりました。

食肉事業

食肉事業につきましては、国産豚におきまして、輸入豚肉の代替需要の増加から相場が上昇したため、売上高、数量ともに微増となりました。一方、国産牛におきましては、消費低迷から回復基調となりましたが、出荷頭数の減少に伴い、売上高、数量とも微減で推移いたしました。輸入ミートにおきましては、円安と現地価格の上昇により売上高、数量ともに前年を微増で推移いたしました。

その結果、売上高は36億95百万円（前年同四半期比0.7%増）、セグメント利益（営業利益）は28百万円（前年同四半期比17.4%減）となりました。

(2) 財政状態の分析

（資産の部）

当第1四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末に比べ1億円増加の177億1百万円となりました。

流動資産は、前連結会計年度末に比べ1億34百万円増加の83億35百万円となりました。主な要因は、商品及び製品2億5百万円及び原材料及び貯蔵品64百万円の増加、現金及び預金1億33百万円及び有価証券50百万円の減少によるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ34百万円減少の93億66百万円となりました。主な要因は、有形固定資産65百万円の減少によるものであります。

（負債の部）

当第1四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末に比べ1億17百万円の増加の125億83百万円となりました。

流動負債は、前連結会計年度末に比べ2億3百万円増加の93億39百万円となりました。主な要因は、支払手形及び買掛金4億30百万円及び未払金2億63百万円の増加と短期借入金3億21百万円及び賞与引当金1億円の減少によるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べ86百万円減少の32億44百万円となりました。主な要因は、長期借入金1億19百万円の減少によるものであります。

（純資産の部）

当第1四半期連結会計期間末の純資産合計は、前連結会計年度末に比べ17百万円減少の51億17百万円となりました。主な要因は、その他有価証券評価差額金16百万円の増加、利益剰余金32百万円の減少によるものであります。

(3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第1四半期連結累計期間において、事業上及び財務上の対処すべき課題に重要な変更及び新たに生じた課題はありません。

(4) 研究開発活動

当第1四半期連結累計期間の研究開発費の総額は41百万円であります。

なお、当第1四半期連結累計期間における研究開発活動の状況に重要な変更等はありません。

第3 【提出会社の状況】

1 【株式等の状況】

(1) 【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	68,000,000
計	68,000,000

【発行済株式】

種類	第1四半期会計期間 末現在発行数(株) (平成25年6月30日)	提出日現在 発行数(株) (平成25年8月12日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	17,000,000	17,000,000	東京証券取引所 (市場第二部)	単元株式数は1,000株 であります。
計	17,000,000	17,000,000		

(2) 【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4) 【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
平成25年4月1日～ 平成25年6月30日		17,000,000		2,691,370		1,503,937

(6) 【大株主の状況】

当四半期会計期間は第1四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7) 【議決権の状況】

当第1四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日（平成25年3月31日）に基づく株主名簿による記載をしております

【発行済株式】

平成25年3月31日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 298,000		
完全議決権株式(その他)	普通株式 16,593,000	16,593	
単元未満株式	普通株式 109,000		
発行済株式総数	17,000,000		
総株主の議決権		16,593	

【自己株式等】

平成25年3月31日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式総数 に対する所有 株式数の割合(%)
(自己保有株式) 福留ハム株式会社	広島市西区草津港 二丁目6番75号	298,000		298,000	1.76
計		298,000		298,000	1.76

(注) 株主名簿上は、当社名義となっておりますが、実質的に所有していない株式が1,000株(議決権1個)あります。
 なお、当該株式数は [発行済株式] で記載のとおり「完全議決権株式(その他)」欄に含めております。

2 【役員の状況】

前事業年度の有価証券報告書提出日後、当四半期累計期間において役員の異動はありません。

第4 【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第64号)に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第1四半期連結会計期間(平成25年4月1日から平成25年6月30日まで)及び第1四半期連結累計期間(平成25年4月1日から平成25年6月30日まで)に係る四半期連結財務諸表について、有限責任監査法人トーマツによる四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】
(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,651,825	3,518,010
受取手形及び売掛金	3,286,437	3,278,123
有価証券	50,000	-
商品及び製品	826,241	1,031,427
仕掛品	44,581	50,760
原材料及び貯蔵品	223,261	287,545
繰延税金資産	103,550	143,184
その他	24,408	32,458
貸倒引当金	9,504	6,402
流動資産合計	8,200,801	8,335,108
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,232,059	2,192,911
機械装置及び運搬具（純額）	337,038	331,131
土地	3,347,087	3,344,656
リース資産（純額）	288,651	271,415
その他	24,804	23,782
有形固定資産合計	6,229,641	6,163,897
無形固定資産		
電話加入権	21,201	21,201
その他	3,656	3,755
無形固定資産合計	24,857	24,956
投資その他の資産		
投資有価証券	1,927,223	1,972,262
出資金	85,517	85,507
敷金及び保証金	131,322	131,503
保険積立金	34,081	34,081
繰延税金資産	915,991	905,669
その他	245,119	241,546
貸倒引当金	193,331	193,054
投資その他の資産合計	3,145,922	3,177,516
固定資産合計	9,400,422	9,366,370
資産合計	17,601,223	17,701,479

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,541,103	2,971,565
短期借入金	5,493,400	5,171,800
未払金	491,730	755,391
未払費用	88,587	93,491
未払法人税等	163,270	86,047
賞与引当金	209,277	108,306
リース債務	106,152	105,278
その他	42,774	47,909
流動負債合計	9,136,296	9,339,790
固定負債		
長期借入金	833,900	714,700
退職給付引当金	2,023,006	2,065,229
役員退職慰労引当金	244,931	248,981
リース債務	188,126	171,565
その他	40,379	43,687
固定負債合計	3,330,344	3,244,164
負債合計	12,466,640	12,583,954
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,691,370	2,691,370
資本剰余金	1,503,937	1,503,937
利益剰余金	590,128	557,192
自己株式	74,460	74,729
株主資本合計	4,710,975	4,677,771
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	422,625	438,764
その他の包括利益累計額合計	422,625	438,764
少数株主持分	982	989
純資産合計	5,134,583	5,117,524
負債純資産合計	17,601,223	17,701,479

(2)【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
売上高	6,876,284	6,957,266
売上原価	5,620,603	5,704,550
売上総利益	1,255,681	1,252,716
販売費及び一般管理費	1,248,437	1,227,938
営業利益	7,244	24,777
営業外収益		
受取利息及び配当金	15,007	14,795
不動産賃貸料	15,878	15,352
その他	12,248	15,453
営業外収益合計	43,134	45,600
営業外費用		
支払利息	26,606	24,338
その他	-	0
営業外費用合計	26,606	24,338
経常利益	23,772	46,040
特別利益		
投資有価証券売却益	1,061	-
特別利益合計	1,061	-
特別損失		
投資有価証券評価損	25,094	-
固定資産除却損	5	0
減損損失	3,340	2,430
特別損失合計	28,440	2,430
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失()	3,606	43,609
法人税、住民税及び事業税	93,828	80,627
法人税等調整額	65,162	54,193
法人税等合計	28,665	26,434
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失()	32,272	17,175
少数株主利益	6	6
四半期純利益又は四半期純損失()	32,278	17,168

【四半期連結包括利益計算書】
 【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失()	32,272	17,175
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	71,911	16,138
その他の包括利益合計	71,911	16,138
四半期包括利益	104,183	33,313
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	104,190	33,306
少数株主に係る四半期包括利益	6	6

【注記事項】

(継続企業の前提に関する事項)

該当事項はありません。

(四半期連結貸借対照表関係)

四半期連結会計期間末日満期手形の会計処理については、手形交換日をもって決済処理しております。なお、当第1四半期連結会計期間末日が金融機関の休日であったため、次の四半期連結会計期間末日満期手形が、四半期連結会計期間末残高に含まれております。

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
受取手形	6,719千円	7,880千円
支払手形	3,838千円	4,905千円

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
減価償却費	100,743千円	97,800千円

(株主資本等関係)

前第1四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年6月30日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年5月14日 取締役会	普通株式	50,108	3	平成24年3月31日	平成24年6月8日	利益剰余金

2. 基準日が当第1四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第1四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年6月30日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成25年5月15日 取締役会	普通株式	50,103	3	平成25年3月31日	平成25年6月7日	利益剰余金

2. 基準日が当第1四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第1四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント		合計
	加工食品事業	食肉事業	
売上高			
外部顧客への売上高	3,208,100	3,668,184	6,876,284
セグメント間の内部売上高 又は振替高			
計	3,208,100	3,668,184	6,876,284
セグメント利益	100,844	34,029	134,874

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の
 主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	134,874
全社費用(注)	127,629
四半期連結損益計算書の営業利益	7,244

(注)全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であり、提出会社の管理部門に係る費用であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			全社・消去	合計
	加工食品事業	食肉事業	計		
減損損失				3,340	3,340

当第1四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント		合計
	加工食品事業	食肉事業	
売上高			
外部顧客への売上高	3,261,785	3,695,481	6,957,266
セグメント間の内部売上高 又は振替高			
計	3,261,785	3,695,481	6,957,266
セグメント利益	116,171	28,094	144,265

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	144,265
全社費用(注)	119,487
四半期連結損益計算書の営業利益	24,777

(注)全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であり、提出会社の管理部門に係る費用であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			全社・消去	合計
	加工食品事業	食肉事業	計		
減損損失				2,430	2,430

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額又は四半期純損失金額及び算定上の基礎は、次のとおりであります。

項目	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
1株当たり四半期純利益金額又は四半期純損失金額 ()(円)	1.93	1.03
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額又は四半期純損失金額()(千円)	32,278	17,168
普通株主に帰属しない金額(千円)		
普通株式に係る四半期純利益金額又は四半期純損失金額 ()(千円)	32,278	17,168
普通株式の期中平均株式数(千株)	16,702	16,700

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2 【その他】

平成25年5月15日開催の取締役会において、平成25年3月31日の株主名簿に記録された株主に対し、次のとおり期末配当を行うことを決議いたしました。

配当金の総額	50,103千円
1株当たりの金額	3円00銭
支払請求権の効力発生日及び支払開始日	平成25年6月7日

第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成25年 8月 9日

福留八ム株式会社
取締役会 御中

有限責任監査法人 トーマツ

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 柴田 良智

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 家元 清文

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている福留八ム株式会社の平成25年4月1日から平成26年3月31日までの連結会計年度の第1四半期連結会計期間(平成25年4月1日から平成25年6月30日まで)及び第1四半期連結累計期間(平成25年4月1日から平成25年6月30日まで)に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、福留八ム株式会社及び連結子会社の平成25年6月30日現在の財政状態及び同日をもって終了する第1四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。
以上

- (注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。
2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。